

今回は、小学部の様子や高等部の現場実習の取り組みについて、紹介します。



小学部



6年生では、これまでに身に付けた学習内容を、普段の生活で発揮していくことをねらって、生活単元学習で「西っこプロ検定」に挑戦しています。今年は、1学期に「机拭き」「ゴミ集め」の清掃検定に挑戦しました。それぞれの場所に適した清掃手順や用具の使い方を、実際の体験を通して身に付けていけるよう、学習を重ねました。また、清掃技能の習得や向上だけでなく、呼名に応じて返事をしたり、場に応じた挨拶をしたりする態度も合わせて学習しました。



高等部 2学期の現場実習



高等部では、9月29日(月)～10月10日(金)を「2学期産業現場等における実習」の期間として、校内実習・現場(校外)実習を実施します。校外の企業・福祉サービス事業所で実習をする生徒は、他の支援学校との期間の調整や事業所の状況等により、期間よりも前や後に校外実習へ行く生徒もいます。

本校の2学期の実習は、1年生は校内実習、2年生は個別の体験実習、3年生は個別の前提実習(「前提」とは、実習生側が「利用したい・就労したい」という意味がある」という意味の前提であり、実習した結果、「利用・雇用の受入れは難しい」と判断されることもあります)です。現場実習を繰り返しながら、生徒に適した卒業後の活動や就労の場を、生徒・保護者・学校(事業所)と話し合いながら決めていきます。

1年生は、普段生活している教室を「にこにこビジネスファクトリー」という名称の会社に見立てて、企業の協力でいただいた委託業務を中心に、校内実習に取り組みます。2学期は主に、箸入れや梱包業務等の作業を通して学習します。時間を守る、敬語(丁寧語)を使う、「正確さ」と「効率(速さ)」を意識しつつ一生懸命に取り組む、自分から発信する等、基礎的な働く力を育てていきます。2年生は、6月に実施した集団(2～4人)での校外体験実習の経験を経て、個別で校外の事業所へ実習に行きます。初めての現場(実習先)に加えて、付き添いの教員や同級生が居なかったり、1人で参加したりする等、1学期よりもハードルの高い内容になりますが、得るものの多い経験になることを願っています。3年生は、ほとんどの生徒にとって、卒業後の就労・利用を前提(前述参照)とした最後の実習です。この実習の終了後、各事業所・企業から卒業後の利用や就労の可否が決定します。

【裏面が有ります】



【高等部卒業後進路先の福祉サービス事業所の情報について】

●現在の事業所の情報（多少のタイムラグ有り）を知ることができる2つのWebサイトを紹介します。

(1) 障害者施設（身体障害者、知的障害者）の入所及び待機状況について、次のサイトから最新の情報をまとめたExcelファイルをダウンロードすることができます。今は「9月1日現在」のものが公開されています。

手順① 図AのQRコードを読み取り、図Bのサイトを表示して下さい

手順② 図Bの障害者施設（身体障害者、知的障害者）入所・待機状況 [Excelファイル/122KB] をクリックすると、ファイルがダウンロードされ、閲覧できます。



図A



図B

(2) 各事業所の詳細な内容については、次のサイトで閲覧することができます。

手順① 図CのQRコードを読み取り、図Dのサイトを表示して下さい

手順② 図D「え〜んじゃネット」のサイトが開きます。

「福祉・医療のサービス事業所情報」のタブをクリックし、図Cのサイトへ

手順③ 図Eに6種の選択肢が表示されます。就労継続支援A・B型事業所の情報は「働きたい」を、生活介護事業所は「日中活動をしたい」から入って閲覧できます。



図C



図D



図E

●その他、各福祉事業所がホームページを開設したりやSNS等へ様々な情報をアップしたりしています。